

提 案 概 要

実施期日	8月1日(金)
部 会 名	中学校 特別活動部会

1 提案テーマ 地域と連携した学校行事の在り方・進め方

2 単元(題材) FGC活動 (Find Good-life Community という造語の頭文字)
(地域のNPO、社会福祉法人、自治会等と連携した学校行事)

3 学年 全学年

4 平成25・26年度神奈川県中学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

①各内容に即した集団活動の在り方や望ましい人間関係の育成

5 学習指導要領との関連(内容項目)

第5章 特別活動 第2 各活動・学校行事の目標及び内容

[学校行事] 1 目標

学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

6 実践に向けての課題意識

現在の中学生の現状を見ると日々時間に追われ、かかわりのある大人は、主に家族と学校の先生であることが現実である。ならば、学校が自ら生徒と地域を結びつける機会を設け、かかわる人を増やし、地域力により子ども達を支えていくことが必要と考えた。また、この活動を通して積極的に地域づくりに参画していくことで、子ども達の自主的・実践的な態度を育てることを意識した。

7 実践の概要

- ・地域のNPO、社会福祉法人、自治会等と連携した学校行事である。
- ・「地域理解」→「地域連携」→「地域貢献」→「将来、よき地域人となる」のサイクルを目指し、本校で10年以上続く体系的・継続的な活動である。下の表は、具体的な活動内容である。

	活動名称	期日	活動内容・目的
1年	FGC ガイダンス	4月中旬	身近な葉山の魅力について知る。
	葉山まるごとウォッチング	6月上旬	地域の方のガイドにより、半日かけて地域を歩き自然・歴史・地理等を学ぶ。
	葉山まちづくり展見学 (まちづくり協会主催)	7月上旬	2年次のFGC体験学習に備え、どんな体験ができるのか実際に見聞きし、イメージを抱く。
	地域ふれあいの会 (自治会長さんなど)	11月下旬	自分が住んでいる地域の方々からお話を聞き、地域の良さや課題を考える。
2年	FGC体験学習プレゼンテーション	4月下旬	体験学習の内容について説明していただき、自分の希望を決定する。
	FGC体験学習+発表会	6月下旬	グループで、葉山ならではの体験学習をし、葉山の魅力を実感するとともに地域の方々との交流を通して、様々な考え方や生き方を学ぶ。
3年	地域ボランティア活動	2月下旬	3年間お世話になった地域の方々にお礼の意味を込め清掃活動を行う。

8 成果と課題

《成果》

- ・様々な体験学習やふれあいを通して、世代を超えた交流ができ、心豊かな人の形成や望ましい人間関係の形成に寄与できている。
- ・地域のNPO等の方に広く認知され、熱心に取り組んでいただいている。中学生を相手にすることで、間接的に、地域貢献・地域の活性化が図れている。
- ・葉山というまちの魅力を実感し、将来「よき地域人」として葉山に根付く人材の育成に寄与できている。

《課題》

- ・「他の行事との関わり」および「時間の捻出」の工夫
- ・評価の方法

9 予想される協議の柱

- ・「他の行事との関わり」および「時間の捻出」の工夫
- ・地域との関わりで工夫していること